

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【公開番号】特開 2001-211890 (P2001-211890A)

【公開日】平成 13 年 8 月 7 日 (2001.8.7)

【出願番号】特願 2000-357232 (P2000-357232)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/566	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	35/00	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/566	

C 1 2 N 5/00

A

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月16日(2007.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号：5で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有するポリペプチドまたはその塩。

【請求項2】配列番号：5で表されるアミノ酸配列を含有するポリペプチドもしくはその塩、または配列番号：5で表されるアミノ酸配列と80%以上の相同性を有するアミノ酸配列を含有し、かつコンドロモジュリン-I遺伝子プロモーターに結合する活性、コンドロモジュリン-I遺伝子の転写を促進する活性またはII型コラーゲン遺伝子の発現を促進する活性を有するポリペプチドもしくはその塩。

【請求項3】配列番号：5で表されるアミノ酸配列を含有するポリペプチドもしくはその塩、または以下の(a)～(e)からなる群から選択されるアミノ酸配列を含有し、かつコンドロモジュリン-I遺伝子プロモーターに結合する活性、コンドロモジュリン-I遺伝子の転写を促進する活性またはII型コラーゲン遺伝子の発現を促進する活性を有するポリペプチドまたはその塩：

(a)配列番号：5で表されるアミノ酸配列中の1～10個のアミノ酸が欠失したアミノ酸配列；

(b)配列番号：5で表されるアミノ酸配列に1～10個のアミノ酸が付加したアミノ酸配列；

(c)配列番号：5で表されるアミノ酸配列に1～10個のアミノ酸が挿入されたアミノ酸配列；

(d)配列番号：5で表されるアミノ酸配列中の1～10個のアミノ酸が他のアミノ酸で置換されたアミノ酸配列；および

(e)それらを組み合わせたアミノ酸配列。

【請求項4】配列番号：5で表されるアミノ酸配列を含有するポリペプチドまたはその塩である請求項1ないし3のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩。

【請求項5】配列番号：19で表されるアミノ酸配列を含有するポリペプチドまたはその塩である請求項1ないし3のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩。

【請求項6】配列番号：4で表されるアミノ酸配列と同一もしくは実質的に同一のアミノ酸配列を含有する請求項1記載のポリペプチドまたはその塩。

【請求項7】配列番号：4で表されるアミノ酸配列を含有するポリペプチドもしくはその塩、または配列番号：4で表されるアミノ酸配列と80%以上の相同性を有するアミノ酸配列を含有し、コンドロモジュリン-I遺伝子プロモーターに結合する活性、コンドロモジュリン-I遺伝子の転写を促進する活性またはII型コラーゲン遺伝子の発現を促進する活性を有する請求項1ないし3のいずれかに記載のポリペプチドもしくはその塩。

【請求項8】配列番号：4で表されるアミノ酸配列を含有するポリペプチドもしくはその塩、または以下の(a)～(e)からなる群から選択されるアミノ酸配列を含有し、かつコンドロモジュリン-I遺伝子プロモーターに結合する活性、コンドロモジュリン-I遺伝子の転写を促進する活性またはII型コラーゲン遺伝子の発現を促進する活性を有する請求項1ないし3のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩：

(a)配列番号：4で表されるアミノ酸配列中の1～10個のアミノ酸が欠失したアミノ酸配列；

(b) 配列番号：4で表されるアミノ酸配列に1～10個のアミノ酸が付加したアミノ酸配列；

(c) 配列番号：4で表されるアミノ酸配列に1～10個のアミノ酸が挿入されたアミノ酸配列；

(d) 配列番号：4で表されるアミノ酸配列中の1～10個のアミノ酸が他のアミノ酸で置換されたアミノ酸配列；および

(e) それらを組み合わせたアミノ酸配列。

【請求項9】配列番号：4で表されるアミノ酸配列を含有するポリペプチドまたはその塩である請求項1または請求項6ないし8のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩。

【請求項10】配列番号：7で表されるアミノ酸配列である請求項1または請求項6ないし8のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩。

【請求項11】請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドをコードする塩基配列を含有するDNAを含有するDNA。

【請求項12】請求項1記載のDNAを含有する組換えベクター。

【請求項13】請求項1記載の組換えベクターで形質転換された形質転換体。

【請求項14】請求項1記載の形質転換体を培養し、請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドを生成せしめることを特徴とする請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩の製造法。

【請求項15】請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩に対する抗体。

【請求項16】請求項1記載の抗体を含有してなる診断薬。

【請求項17】請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドもしくはその塩、請求項1記載のDNAまたは請求項1記載の形質転換体を用いることを特徴とする、請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩の活性を促進または阻害する化合物またはその塩のスクリーニング方法。

【請求項18】請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドもしくはその塩、請求項1記載のDNAまたは請求項1記載の形質転換体を含有してなる、請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩の活性を促進または阻害する化合物またはその塩のスクリーニング用キット。

【請求項19】請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドまたはその塩を産生する能力を有する細胞を試験化合物の存在下に培養し、請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドをコードするDNAもしくはその相補DNAまたはその部分DNAを用いて請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドをコードするmRNAの量を測定することを特徴とする、請求項1ないし10のいずれかに記載のポリペプチドをコードするDNAの発現を促進または阻害する化合物またはその塩のスクリーニング方法。